

学校法人志紀学園

認定こども園志紀学園幼稚園

1) 園の教育目標

- 1 明るい元気な子どもに育てましょう
- 2 友達と仲良く遊べる子どもに育てましょう
- 3 何事も最後まで一生懸命する子どもに育てましょう
- 4 自分で考え 正しく行動する子どもに育てましょう
- 5 素直で健康な子どもに育てましょう

2) 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画

評価項目に沿って 自己評価を実施して教員自ら客観的に自分を見る目を養い施設の改善、教育の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする

- 1) 教育の内容を充実 園児の自主的行動やたくさんの遊びを取り入れる
- 2) 安全危機管理の見直し 危機に対して即座に対応できるように全職員の意を向上させる
- 3) 保護者の信頼関係 保護者と協力し教育、保育ができる体制を作る
- 4) キンダーカウンセルの充実 子育てに悩みのある相談窓口になる。
- 5) 地域との連携

3) 評価項目および達成、取り組み状況

- 幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成している。
教育課程の説明会に園長、主任を出席させ新教育要領、アクティブラーニングの取り組みや研究を行い、保護者には毎月1回 幼稚園の理念やカリキュラムを出している。
指導計画は毎年熟慮して子供の実態を把握して月案・日案を作り無理のない計画を立てている。子供の考える力・心の成長を養う。
- 子供の実態を的確にとらえ作成している
指導計画は毎年熟慮して子どもの実態に即した日案の無いようにするよう計画を立てている。子どもの心の成長と考える力を養う。
教員は日々の記録を参考にして子どもの実態を把握して、保育に反映させるようにしている。
- 学期ごとの各クラスの経営の成果と課題を報告する
各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに 達成状況を報告しあっている。
保護者には学期ごとの個人懇談を実施。
- 子どもの良さを認めて評価しようとしている
1人1人の良さを認め、教員が客観的に子どもを見る目を養うようにしている

- 遊びを通じて工夫したりする姿が見られる。
自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊べる環境を準備する。
- 規則正しい生活習慣の定着に向けて指導を行う
登園か降園までの1日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。
- 各学年で公開保育を行う
各教員が公開保育を行いお互いの保育の指導を見て研修する。
- 研修会や研究会に積極的に参加して資料提供する
研修会や研究会で学んだことを資料にまとめ、職員で報告する。
- Free to enjoy を昨年に続き取り組んで異年齢の交流を進める。
- 園便りやホームページ、インスタグラムなどで積極的に情報を発信していく。
教育方針や取り組みを情報提供発信していく。
- 園の財務状況を積極的に公開する
公認会計士の監査報告の結果適正に処理されていることの報告を受けている。

今後 取り組むべき課題

- 1) 園庭の遊具の点検や危険場所を常に探して安全のため、職員の意識を高めたい。
- 2) 情報は保護者や職員が共有するように連絡を密にしたい。
- 3) 働く保護者の様子をよく見て連絡を問いあい、子どもに負担が来ないようにする。
- 4) 研修会への参加もどんどん進めたい。
- 5) ニーズに合わせた、預かり保育の充実
- 6) 満3歳児に対する保育内容の充実

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

日々の反省や、連絡は十分でき、お互い研修する姿勢ができてきている。
環境整備や安全にもしっかり目を向け安心して子どもが遊べる環境づくりをしている。
職員との連絡がとてもよくできていて、先輩も後輩に対する指導がよくできている。
1人1人のアイデアが計画的に発揮されている。
温かい雰囲気の中で仕事に取り組んでいる。
インスタグラム、動画配信など少しずつ挑戦し、ITを使った情報発信に力を入れた。
満3歳児保育をスタートし、順調に低年齢の保育・教育に力を入れる事が出来た。
北館の外壁改修、照明の全LED化も終了。(全建物の外壁・非構造部の耐震改修終了)

評価委員会の意見

先生の人数がとても多く経験者の先生がしっかり園児さんを見て指導してもらっています。
行事のたびに子供の成長が見られることはとてもうれしい。
メールシステムがしっかりしており、連絡がスムーズでありがたい。
預かり保育は6時半までであるし内容が充実していてうれしい。
欠席する園児が少ないのは喜んで通っている証拠だと思います。
バス送迎も便利で地図などのシステムもよく出来ており便利。

以上